

学校関係者評価の実施

- 1 日時 1月29日(水)
- 2 場所 長与小学校多目的室
- 3 参加者 学校関係者(自治会長様、学校評議員様、PTA役員様等)20名 ※文書による参加2名  
学校側代表(校長・副校長・教頭)3名
- 4 審議内容 本年度の学校評価の妥当性について

【学校関係者による審議の結果】

- ◎ 教育実践の実態把握、結果分析に基づいた学校評価の方法は適切である。
- ◎ 教育環境が整っていると共に、教師の指導力向上が児童の学力向上に繋がっている。
- ◎ 地域・家庭が学校と連携した子育てへの意識を高め良い教育効果を挙げていく必要がある。
- ◎ その他の学校評価の結果は妥当である。

学校評価総括と学校関係者評価

基本目標

たくましく豊かな心を持つ青少年の育成

取組内容の大きな柱は長与町統一の評価項目

※評価の規準

4 十分達成できている 3 概ね達成できている 2 どちらかという達成できていない 1 ほとんど達成できていない

目標	取組の内容	評価	分析及び改善策	学校関係者評価
心の豊かさ と自ら学ぶ力を育てる 学校教育の実現	1 豊かな心の育成 ② あいさつと言葉遣い  ②いじめ、不登校への適切な対応	3	○ 「あいさつ」を児童に身につけさせることを生徒指導の最重点事項とし、指導に取り組んだ。校内でのあいさつはかなり改善されている。さらに地域でも挨拶ができる児童が育つように、今後も家庭地域と連携し指導する。 ○ 毎月の生活調査アンケートの実施や教師の積極的な関わりにより、改善が進んでいる。教職員間及び保護者、関係機関との連携、教育相談体制が充実してきた。今後もこの体制を維持し、予防と早期解決に取り組む。	□ 評価は妥当である→14名 □ 4点が妥当である→2名 1点が妥当である→1名 <b>【御意見】</b> ○ 地域でのあいさつが増えている。心の教育の充実のためにもあいさつができる児童に育ってほしい。 △ 童数が多いだけにいじめ根絶、不登校対策には継続して取り組んでほしい。 ▲ 地域では進んであいさつができない子やあいさつしても返せない子が多い。
	2 基礎学力の充実 ①確かな学力の育成  ②教職員研修の充実	3	○ 全国学力・学習状況調査、全国学力標準調査(CRT)では、平均を上回る安定した学力の習得が見られた。課題の改善と共に、どの子にも基礎基本の充実を図り、確かな学力の定着を目指す。 ○ 「めあて」「まとめ」「対話」の授業について、教職員研修により充実が図られた。教師の指導力向上をさらに図る。	□ 評価は妥当である→16名 □ 4点が妥当である→3名 <b>【御意見】</b> ○ 環境が人をつくると言われている。良い学習環境が整っている。 ○ 児童の学力の高さは町民としても誇りに思っている。 ○ 教師の黒板の字が丁寧である。掲示物も整っている。
	3 健康安全教育の推進 ①安心安全な学校生活  ②体力づくり	3	○ 日常的な学級での指導に加え、計画的に健康教育・安全教育、メディア教育を行った。PTAともノーメディア運動で連携を図ってきた。更に児童の実践力を育てていく。 ○ 日々の体育科授業を充実させることによって、運動する楽しさを味わわせることができた。さらに日常的な運動の習慣化を図る。	□ 評価は妥当である→16名 □ 4点が妥当である→1名 <b>【御意見】</b> ○ 児童がよく運動場で遊んでいる。児童と共に遊ぶ教師も多い。 △ メディア教育の充実はこれからの児童にも親にも必要なことであると考える。
	4 特別支援教育の充実 ①一人一人のニーズに応じた支援  ②教育相談の充実	3	○ 特別支援学級、通級指導教室において個別の指導計画をもとに、個に応じた授業が行われ、児童の安定した登校が実現した。今後さらに児童・保護者のニーズに応えられるよう専門機関との連携を図る。 ○ 児童や保護者との困り感の共有をもとに、特別支援コーディネーターを窓口として、丁寧な対応、積極的な対応、組織的な対応ができた。	□ 評価は妥当である→12名 □ 4点が妥当である→5名 <b>【御意見】</b> ○ 一人一人の児童のニーズに応じた指導ができていると感じている保護者が多い。 ○ 個に応じた授業を見ることができた。 ○ 児童一人一人が夢や希望を持てる教育を続けてほしい。
	5 国際化への対応 ① 外国語活動の充実	3	○ 5・6年生には、外国語専科が専門的要素を取り入れ、新しい学習指導要領に応じた授業が展開された。1～4年生にはALTが担任の補助を行い、生の英語に触れた。新教育課程に向けた見通しがもてた。さらに教師一人一人の指導力の向上を図る。	□ 評価は妥当である→14名 □ 4点が妥当である→4名 <b>【御意見】</b> ○ 児童が意欲的に学習に取り組む様子を見ることができた。

<p>6 教育環境の整備 ①整った教育環境</p> <p>② 保護者・地域との連携</p>	<p>3</p>	<p>○ ユニバーサルデザインによる教室の前面掲示や板書、廊下の整理整頓に全校あげて取り組み、整った環境を継続したことで、児童の心の安定につながっている。</p> <p>○ 地域安全ボランティア、図書ボランティアやゲストティーチャーなど保護者・地域人材により、安心して学ぶ環境が整ってきている。さらに家庭との連携を図り、長与スタンダードや家庭学習など共通目標を共通実践していく必要がある。</p>	<p>□ 評価は妥当である→10名 □ 4点が妥当である→7名 1点が妥当である→1名</p> <p><b>【御意見】</b></p> <p>○ 実際の児童の声から良い教育環境が整っていることを感じる。</p> <p>○ 教職員の地域行事への参加がとても素晴らしい。</p> <p>○ 地域の児童の安全な下校への協力が素晴らしい。</p> <p>▲ 地区PTA等、保護者の方一人一人の積極的な参加による、児童へのよりよい教育ネットワークの充実が望まれる。</p>
<p>7 教職員の資質向上 ① 指導力の向上</p> <p>②児童に寄り添う教師</p>	<p>3</p>	<p>○ 児童の学力向上に向け、教職員相互が研鑽する職員風土がある。学力向上や安定した学級経営の実現を目指して、さらなる指導力向上を目指す。</p> <p>○ 児童から信頼を寄せられ、成長を促していく教師であるため、児童に寄り添い、共に学び、共に遊ぶ教師を目指してきた。児童と向き合う時間の確保が課題である。</p>	<p>□ 評価は妥当である→14名 □ 4点が妥当である→4名</p> <p><b>【御意見】</b></p> <p>○ 学校が楽しいという児童の声から良い指導が行われていることを感じる。</p> <p>○ 授業を参観して、先生方の努力を感じた。</p> <p>△ 教職員の負担が大きくなっていないだろうか。業務改善を望む。</p>